

NPO 法人グリーンテクノバンクてん菜研究会
投稿原稿作成要領

1. 原稿は、日本語の口語体とし、原則としてワープロソフトを用いて作成する。
2. 1 頁目には、表題、著者氏名および括弧に入れた所属機関名、所在地および郵便番号を、和文および英文併記する。2 頁目に摘要（和文のみ）を記載する。摘要は、和文で 600 字程度にまとめる。
3. 摘要は、本文の大意がわかるように、研究の目的、材料、方法、結果などの概要を改行せずに記載する。
4. 表題は、できる限り主題と副題に分けない。また、「～に関する研究」のような表題は避ける。
5. 著者の所属を示す数字を氏名の右上に付すとともに、著者の所属機関名の左上に同一の数字を付すこと。
6. 本文は原則として「緒言」、「材料および方法」、「結果および考察」および「参考文献」の順に記載する。これらの項目には番号を付さない。ただし、個別に項を立てる場合には、1., 2., と付す。
7. 本文（緒言以下の頁）には、行番号を付する。

（記載例）

テンサイの草丈、葉数及び茎葉重に関する片側ダイヤレル分析

甜菜太郎¹・育種次郎²・栽培花子²

¹（独）農研機構 作物研究所，つくば市，〒305-8518

²（独）農研機構 北海道農業研究センター，芽室町，〒082-0081）

Half Diallel Analysis on Plant Height, Leaf Number and Top Weight of Sugar Beet (*Beta Vulgaris* L.)

Taro Tensai¹, Jiro Ikusyu² and Hanako Saibai²

¹National Institute of Crop Science, Tsukuba, 305-8518, Japan,

²National Agricultural Research Center for Hokkaido Region, Memuro, 082-0081, Japan)

#（ここで改ページしてください）

摘要

#（ここで改ページしてください）

緒言

材料および方法

1. □□□□

2. △△△△

結果および考察

1. ■■■■

2. ▲▲▲▲

参考文献

- 1) 文献は本文で引用したものに限る.
- 2) 本文中における文献引用の形式は、著者名(姓)(西暦)とする. ただし、著者が2名までは姓を列記し、3名以上の場合は筆頭者の姓に後に“ら”(和文の場合)、“et al”を付す.

(記載例) 木村ら(1992)は~, 石川・太田(1993)は~,
Smith *et al* (1996)は~, ~の報告がある (Root and Major 1981)

- 3) 参考文献記載の順序は、著者の姓のアルファベット順、同一著者のものが二つ以上ある場合は年次順とし、同一著者で同一年次のものは年次の後に a,b を付け、引用した文献が分かるようにする.
 - 4) 参考文献には番号を付けない.
 - 5) 雑誌からの引用は、著者名(西暦)論文表題、雑誌名巻: ページ.の順に記す. なお、参考文献の表題は省略しない.
 - 6) 単行本からの引用は、著者名(西暦)引用した章や項の表題“書名”.監修者・訳者名、発行書店名、その所在地、引用した章や項の頁.の順とする.
 - 7) 試験成績書、私信などは参考文献に入れず、注とする. 注は、引用直後に(注: ○○○○ ○)と続けて記し、脚注としない.
8. 句読点は、「, .」とする.
 9. 学術用語以外は、原則として常用漢字を用い、平易かつ簡潔な文章となるように心がける. 学術用語は、作物学用語集などの用語を用いる. 歴年は西暦を使用する.
 10. 生物名は、カタカナ(例: テンサイ)、外国人名は原則英語(例: Owen)とする.
 11. 表題は、できる限り主題と副題に分けない. また、「~に関する研究」のような表題は避ける.
 12. キーワードは、従来の学会報の Index に見られる語彙を参考に、学術用語に準拠して選定する.
 13. 本文および摘要に、略字、略号を使うときには、初出時に正式名称を記載する
 14. (例: 細胞質雄性不稔系統 (CMS 系統), 雄性不稔維持系統 (O 型系統)).
 15. 数字は原則としてアラビア数字を用いるが、熟語となっている数字は漢字とする.
(例: 一つ, 一代雑種, 二倍体).
 16. 図表の表題、脚注および図中の標記は、和文、英文いづれでも良いが、同一論文中ではいづれかに統一する. 和文の場合には、図 1, 表 2 (数字は全角) のように記載する.
 17. 図表の表題や脚注を英語で記載する場合は、題名の文章は最初の語のみ大文字とする. 本文中で図表を引用する場合は、Fig. 1, Table 2 のように記載する (Fig. と図番の間に半角スペースを入れる).
(記載例: Fig.1. Relationships between double ovule ... of sugar beet, ...)
(記載例: Table 2. Correlation coefficient ... in selected lines.)
図番の右隣りに半角ピリオド"."を必ず付すこと)
 18. 図表は、予め刷り上がりの大きさを想定してデザインする. そうでない場合は、縮小率を図毎に明記する.

平成 21 年 7 月 24 日 制定

平成 22 年 7 月 23 日 一部修正

令和 4 年 2 月 1 日 一部修正